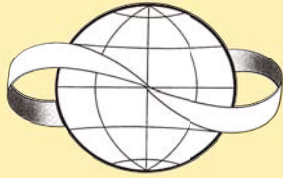


ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



商標登録第 4882482 号

第 79 号

(新年号)

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 18
TEL : 042 - 395 - 9788
FAX : 042 - 395 - 9787

新年あけまして
おめでとうございます



中国武漢市から広まった新型コロナウイルスに対し、WHOが公衆衛生上の緊急事態を宣言したのが昨年一月三〇日ということ、人類とコロナとの戦いは早一年となった。ありえないと考えていた都市封鎖が世界各地で現実となり、わが国でも東京オリンピックの延期が決まり、緊急事態宣言が発せられ、国民も自粛生活に協力し、当たり前前の日常が失われた。手洗い、マスク、消毒を励行し、他人とは距離を置いた新しい生活様式が当たり前になった。この頃では少しコロナに慣れてきてしまったとすら言われているが、やはり、ワクチンや特效薬が全国民に行き渡るまでは気の抜けない戦いが続くのだろう。

先の見えないコロナ禍は、我々資源業界にも暗い影を落としている。古紙価格の下落を背景に、東資協が集団回収事業非常事態宣言を発令したのが昨年の一月だ。古紙価格はそこからさらに下落し、四月に底値となったまままで推移している。二〇二〇年末で中国向け古紙輸出がストップしたため、海外相場は先行き不透明で、特に他の国でもあまり需要がない雑誌の余剰が心配されている。また、折からのペーパーレス化に加えて、国によるデジタル化の推進により、情報用紙を中心に生産減と発生減が予想されている。

古布は、昨年三月におもな輸出先であるマレーシアのロックダウンの影響を受け、一時流通がストップする事態になり、市民の皆様には家庭備蓄にご協力頂いた。今は流通が回復しているが、価格的には暴落したままとなっている。金属スクラップは、海外市況が好調なことと、国内での発生が少なくなったため、二年前の水準に戻りつつある。

市況的には目下、暗いニュースばかりだが、コロナに関連して、車移動の増加から中古車の需要が高まっているとか、出版部数が減っているため、古書が不足しているという話もあった。何がどう転じるかは予想もつかないが、巢ごもり需要にしろ、GOTO事業にしろ、景気の回復と紙の需要・古紙の発生は切っても切れない縁であることは変わらないと思うので、一刻も早い経済の正常化に期待したい。

コロナも市況も課題が多いが、兎に角、資源回収を止めることは絶対に出来ない。我々のような資源収集業務を行う事業者は、国民生活上欠かせないエッセンシャルワーカーとして認知されており、コロナになつたらどうしよう、ではなく、そもそも絶対にコロナを出してはならぬ・と肝に銘じて日々作業を行っている。作業員も日々ストレスを抱えながらも、自覚と責任を胸に、この仕事に誇りを持って取り組んでいる。

市民の皆様には、本誌四〇五面のリサイクル掲示板で紹介しているように、リサイクル率及び古紙品質向上のため、雑がみの回収促進と禁忌品の分別を始め、資源回収において様々なご理解とご協力をお願いする機会がますます多くなると思う。

結びになりますが、本年変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(吉浦)

リサイクル適性(A)

直言拝聴

『今後の古紙の展望について』

公益財団法人古紙再生促進センター

専務理事 川上 正智



①はじめに

未曾有の難局に直面し、難しい
 かけ取りを迫られた二〇二〇年、
 資源回収に関わる皆様方には、コ
 ロナへの対応はもちろんのこと、

多くの課題に対し、それぞれのお
 立場で見事に立ち向われました。
 そのご尽力に対して心から敬意と
 感謝の気持ちを表したいと思いま
 す。

中国から始まった『COVID-19』
 新型コロナウイルスによる感染防
 止に世界中が腐心し、パンデミック
 (世界的大流行)という恐怖の中
 で『ロックダウン(都市封鎖)』、或
 いは、日本の様な『緊急事態宣言』
 で乗り越えたかに見えたが、政府
 が経済復興施策を進める中で人々
 の行動、移動と共に感染が拡大し、
 加えて『変異型新型コロナウイルス』に
 よるコロナ禍再流行により感染規
 模は拡大、この状況下で再び外
 出・行動自粛の措置が採られてい
 る。昨年四月七日に出された『緊
 急事態宣言』後に経済の後退と共
 に急激に落ち込んだ紙・板紙消費
 がやや持ち直しを見せてきた紙パ
 産業の光明に抗うもので、後述す
 る新たな課題が加わると、本年は
 昨年にも増して古紙の回収から紙
 の生産へと繋がる事業全般に厳し
 い様相となる事が予想される。

さて、紙原料としての古紙資源
 回収、及び紙・板紙の生産はライ
 ズラインを支えるエッセンシャル
 な業態として、コロナ禍の中にお
 いても、米国、欧州、アジア諸国、

日本など世界中で継続されてきた。
 しかし、二〇二一年は愈々中国の
 古紙輸入禁止が始まる。世界は昨
 年、中国政府が発行した古紙輸入
 ライセンス分、六七五万トンの余剰
 古紙資源をどの様に利用するのか
 大きな試練を与えられた。

振り返れば二〇〇〇年頃から始
 まった中国経済の高度成長下、大
 型抄紙機、最新鋭の古紙処理機能
 を備えた設備が次々と導入され、
 紙の生産は三千万トンから二〇一
 〇年には九千万トンへ、二〇一二
 年には一億トンを超えた。世界の
 紙の約二五%を生産する大国とな
 り、原料の不足分を世界中で発生
 する余剰古紙(約五千万トン)の半
 分とそれに含まれた多量の異物を
 飲み込み続け環境汚染の原因を作
 った。異物発生源の多くは欧米の
 シングルストリームと言われる缶
 瓶、ガラス、プラスチック、紙、
 時には食物まで混合回収したもの
 から選別処理した古紙である。二
 〇一七年、中国の固形廃棄物輸入
 規制宣言後、欧米も回収法の見直
 し、光学機器、ロボット導入など
 選別強化等の対応をし、改善され
 たと言う情報は多いが、未だアジ
 ア地区に送られる古紙には日本古
 紙に比べ異物が多く含まれるもの
 がある様だ。

②中国古紙輸入禁止後の対応

日本が昨年、中国へ輸出した古
 紙は段ボール・新聞・雑誌の各古
 紙、約五十一万トン・二七万トン・
 三六万トンである。段ボール古紙
 については、アジア地域で中国向
 けの再生パルプ、製品輸出のため
 の段ボール古紙需要が大きく伸び
 た。特に、ベトナム、インドネシ
 ア、台湾等の需要拡大で前年比一
 一〇%と好調であった。また、日
 本からも中国等、アジア地区へ
 段原紙製品が昨年比二倍の約九〇
 万トンが供給された。一方、問屋
 の在庫は低く、メーカー在庫も三
 〇%を切り低在庫。なお、アジア
 地区には段原紙系(含、再生パル
 プ)製造設備の新増設が今後も数
 百万トンオーダーで計画されてお
 り、段古紙には高い需要が見込ま
 れ、中期的には中国輸入禁止に伴
 う余剰分は飲み込めるものと考え
 られる。なお、段原紙製品輸出量
 の拡大については、国内の段古紙
 発生量への影響も注視する必要が
 あり、今後も国内発生量推移を注
 視していく必要がある。

次に、新聞及び雑誌古紙の余剰
 対策は新たな販路の開拓が必要で
 ある事は明白であるが、短期的に
 は各種製品への増配での対応を製
 紙メーカーにはお願いしたいとこ

るである。また、古紙の新たな販路確保には今まで以上に品質第一で臨む必要がある。昨年、日資連さん、全原連さんと当センターにて日本の古紙品質アピールのPR動画を制作、今後の輸出拡販の一助になればと思う。過去には、一部であるが異物の多い古紙が輸出された歴史もあり、この様なバラツキがない事の品質信頼度が重要である。中国では包材の軽量化と並行して原紙の高強度化が進められている。アジア諸国から中国への高強度段原紙、再生パルプ輸出が今後も継続されるのは必至で、中国の古紙輸入禁止で余剰となった米国の約三五〇万トンの高強度段古紙がアジア市場では優先使用されると思われるが、日米欧古紙の輸出競争下で、市況影響も注視していきたい。

いずれにしても古紙需給の先行きは不透明だが、コロナ禍後の世界や日本経済回復ペースは元より、中国が原料古紙の輸入減少相当分を如何なる形でカバーしていくのか、そもそも紙板紙製品なのか、国内古紙、再生パルプや木材パルプ等の代替原料なのか注視していくと共に、短期的な変動に動揺することなく、これまで以上に需給両業界関係者の意思疎通と冷静な

対応が必要となる。輸出開拓も国内消費増も、競争力をつけるための品質改善へ向けた関係者の努力が引き続き重要であり、センターとしても需給両業界への働きかけ、国、自治体および関係業界の協力を得て排出元での分別排出、禁忌品の周知徹底に向け活動していく。また、安定的な仕入れ価格や、回収継続に向けての資源化コストのありかたについても、リサイクルに携わる全員が課題を認識していくことが大切であり、センターも従来にも増して製紙、古紙業界、回収業界と協力、自治体および関係先への情報発信に努め、日本の紙リサイクルシステム維持、向上を図って行きたい。

③古紙再生促進センター

一九七四年三月発足の当センターは二〇二四年には半世紀の節目を迎える。センター運営は四大事業①品質安定対策 ②紙リサイクル啓発・普及 ③国内外の調査研究 ④紙の資源リサイクル安定化対策を軸に、全国各地に於いても需給両業界の意見や情報交換の場を定期的に提供し、古紙の需給安定に努めているが、紙・板紙製品需要の構造的変化やコロナ後を見据えた、センター事業運営の在り方を再点検すべき時期にあると考

える。

私共の立ち位置は、リサイクルのループに関わるステークホルダー（一般家庭・自治体・事業者・回収業者・問屋・輸出業者・製紙会社等）の中で、個々の利害を超えた、公益性を有する中立的な立ち位置や個別企業では実現できない対応が強みであり、関係者の架け橋となる使命を再確認していきたい。

センターには長年に亘り培ってきた「有形無形のリソース」があり、例えば業界諸先輩のご努力で構築された全国小中学校（一万五千校）、全国自治体（一七〇〇）とのパイプを始めとした交流や地域での啓発活動の歴史は誇るべきものがある。

更にメーカーさんの各工場と地元行政との関係、全国古紙関連OBの存在等々のリソースがあるものの、それぞれ垂直的な関係に留まっているのではないかと、新たな角度、側面からそれらに横串を通す四大事業展開により、全国ベースでの①回収・利用の拡大②安定供給・確保 ③紙品質の維持・向上に中長期的に繋がっていく余地があるのではないかと考える。また、コロナ禍で一挙に拡大しているオンラインを通じたコミュニ

ニケーションについても行政や教育機関との意見交換や啓発事業拡大にも十分使えらるかと考える。国内遠隔地は勿論、海外との関係構築にも繋げないか、ピンチをチャンスで課題整理中。各界の講師を招いたセンター主催の定期的なオンラインセミナーも開始した。いずれにせよ半世紀に及ぶセンター基本思想を大切に、次の五〇年に向けて「コロナ後の社会」や「SDGs」という新たな価値観を加えると共に、新たな側面からセンターリソースを有機的にリンクさせる仕組み作りを通じて、存在価値の底上げ、認知、理解度を高めたいと思う。

計り知れないコロナ影響を受け、古紙を取巻く状況も不透明感が拭えないが、歴史を遡れば、紙ゴミ問題に端を発し、その後の古紙余剰や需給ひっ迫の激しいアップダウン、中国の台頭に伴う輸出急増等々、幾多の試練を乗り越え、需給両業界は信頼関係を築いてきた。当センターも紙リサイクルに携わる皆様の架け橋として自身も進化し、その使命を果たしていきたい。「もつと広く知ってもらおう、もつと活用してもらおう」古紙再生促進センター運営を心がけていきます。よろしくお願いいたします。

令和二年度紙リサイクルセミナー

二〇一七年に中国がナショナルソードを発動し、固体廃棄物の輸入規制を開始、二〇二〇年末で古紙の輸入をゼロにしました。年末までと言っても、年内に中国に到着しなければなりませんから、実質的に日本からの輸出は十一月で打ち止めになってしまいました。もちろん、中国向け以外の輸出は従来通りということになります。価格面でも量の面でも世界をリードしてきた中国輸出完全停止による影響は計り知れません。

このような情勢の中、昨年十月十五日に（公財）古紙再生促進センター主催の『紙リサイクルセミナー』が開催されました。コロナ禍での開催ということで、普段から三百名の定員を三十名に絞り、残りの参加者は、youtubeによる同時中継（その後二週間にわたり公開）となりました。長谷川代表理事からは、古紙の利用率が八月までの五か月間で六八・八%という高い数字となっていてこのまま推移していくこと、中国の輸入停止による混乱の中で古紙がごみ化するごみ化の無いように課題に対処していく旨の挨拶がありました。



古紙センターの長谷川代表理事の挨拶(上)と山發日本藍副社長の講演(左)



セミナーは、三名の講師によるリレー講演会となりました。お一人目は、全国牛乳パックの再利用を考える連絡会代表の平井成子氏でした。パック連の活動と牛乳パックリサイクルの動向を説明された後、コロナ禍において会の活動が三分の程度しかできていないことと、各地で回収の中止が相次いでいる学乳パックの問題について警鐘を鳴らしていました。

二人目の山發日本藍副社長からは、原紙や古紙バルブ輸入にシフトする中国と、次の古紙市場へと成長する東南アジア各国という古紙・板紙流通の変化について解説

がありました。今後の市場予測としては、アジアマーケットの形成により、昨年のような輸出価格が一ケタ台まで暴落する可能性は低いそうです。ただ、ここ数年のうちには中国以外の各国でも品質基準が厳格化されていくため、これをクリアしていく必要があるとのことでした。段ボール古紙については、発生も堅調で、今後の需要も見込めるとされていますが、雑誌・雑がみについては品質、需要、価格とも心配要素が続きます。三人目は、全国製紙原料商工組合連合会副会長で中部製紙原料商工組合理事長の石川喜一朗氏で、地元名古屋市中区における古紙回収状況と品質改善の取り組みについて説明があり、最後には全国的に取り組んでいるJブランドや出前授業に関する説明がありました。

また、同日夜には、東資協青年部でもリモート勉強会が開催され、講師の（有）古紙ジャーナル社・本願編集長からも古紙の国際情勢や国内での現状についてお話しを伺いました。

その中で、コロナ禍や政府のデジタル化の推進により、需給や価格の問題もさることながら、むしろ逆風は古紙の発生減であるという話がありました。確かに新聞・

雑誌の回収量の減少は顕著で、この傾向は変わらないと思います。回収量の減少は、集団回収団体の皆様にとっては報奨金の減額につながりますし、私たち回収業者にとっては回収経費のカットに繋がります。回収量の増加、安定的な流通の確保と、目指すべき課題は多く、組合としても関係各市や関連団体と連携し、取り組んでいく必要があると感じました。(TKO)

●市民ごみ大学セミナーに参加

去る一〇月一七日(日)、国分寺市労政会館にて開催された表記のセミナーに参加しました。今回のテーマは、『多摩地域のごみ さらなる減量を進めるために』と題し、小平市や西東京市の廃棄物減量審でも会長を務める東洋大学名誉教授の山谷修作氏と武蔵野市環境部ごみ総合対策課の菅野詩郎氏による講演と質疑応答がなされました。さらなる減量のためには、有料化後も市民のリサイクル意識を維持することや事業系ごみの適正化が課題であるようです。

また、両氏のお話の中で、雑がみのリサイクルの推進のお話がありました。本誌でもリサイクル掲示板で雑がみ回収袋の作り方について紹介しています。ぜひ参考にしてください。(福田)

リサイクル掲示板

雑がみ回収袋を作ろう！



多摩地域のごみの組成分析調査（2019年度）によると、可燃ごみの中に紙類が36.8%（乾ベース）含まれているそうです。もちろん、すべてがリサイクルできる紙類というわけではありませんが、その半分の20%くらいはリサイクルできる紙類が混入しているのではないかとされています。

全量調査ではありませんので断定はできませんが、下の表の数字だけを見ると、多摩地域の平均に比べ、当組合の関連する地域での紙類の混入割合が多いようです。

2019年ごみ組成分析(紙類)	東村山市	小村大3市 (小平市・東大和市・武蔵村山市)	柳泉園3市 (西東京市・東久留米市・清瀬市)	組合関連5市平均	多摩地域全域平均
乾ベース	50.2%	48.5%	42.1%	45.4%	36.8%
湿ベース	44.2%	40.1%	44.7%	43.3%	33.6%

雑がみを可燃ごみに入れてしまう方の意見としては、分別が難しい、面倒くさい、雑がみを入れる袋がない、などがあるそうです。分別方法を紹介したパンフレットやチラシは組合にございます。また、現在は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から難しいですが、古紙分別の出前講座なども開催できますので、難しい、面倒かかもしれませんが、リサイクル率向上のために、ご協力をお願いします。

また、雑がみを出す際の入れ物ですが、最近段ボール箱に雑がみや段ボールを混ぜこぜに差して出される方が多く見受けられます。雑がみと段ボールは用途が違いますので、別々に収集をしています。混ぜこぜにせず、段ボールは段ボールで潰して束ねて、雑がみは本に挟むか紙袋に入れて出して頂きたいと思えます。その袋がない？実は、簡単に作れるんです。今回のリサイクル掲示板では、皆さんと雑がみ袋を作っていきたいと思えます☒

◎ 雑がみ回収袋の作り方 ◎

【用意するもの】市報やチラシなど、ある程度の大きさのある紙と、のり or セロテープ

今回は、読み終わったヴィーナス通信を2枚合わせて大きくしたものを使って、雑がみ回収袋を作っていきます。最初から大きな紙を使う方は、②から始めて下さい。

①



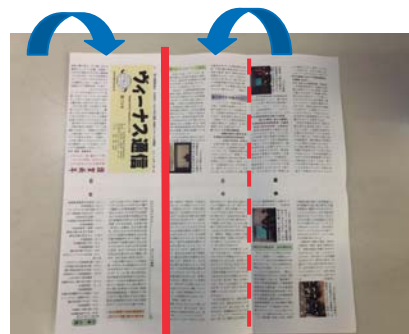
読み終えたヴィーナス通信を開き、2cm重ねて貼り合わせ、大きな紙を作る。

②



中心線に折り目をつけておきます。

③



左右から中央に向かって折り、2cm重ねてのり付けする。

裏面に続く

リサイクル掲示版

④



のりを付けたところを押さえる

⑤



両端を折り

⑥



折った部分を内側に折り返し、マチを作る。

⑦



マチの半分の3倍の長さのところから下から折り上げる。

⑧



折り上げた部分の底を広げ、箱のようにする

⑨



左右をたたみ、のりをつけ、上部を下に向かって折る。

⑩



のりをつけ、下部を上に向かって折る。

⑪



のりを付けたところを押さえる

⑫



雑がみ回収袋の完成です！

雑がみ回収袋は、他にもいろいろな作り方があり、Webで検索すると作り方の説明や動画が出ています。いろいろ工夫して楽しくリサイクルが出来ると良いですね。ぜひ試してみてください。

【コロナ禍をどう過ごす？】

大好きなプロレスもオンデマンドで

だいぶ前にこのヴィーナス通信にも掲載していただきましたが、私には唯一の趣味があります。皆さん覚えて頂いてますでしょうか？そう「プロレス」です。

この新型コロナウィルスが流行する以前は年間に必ず一五大会上は観戦していました。ところが今年に入って当然このようなイベントは自粛を余儀なくされ、私も二月の大会以降は観戦に行くこともできなくなりました。それでも六月からは徐々に大会を再開して行きましたが、私自身は感染の恐怖からか未だチケットを買う気にはなれませんでした。それでもオンタイムでプロレスを見たい欲求が収まらない私は、妻に頼み込んで有料のオンデマンドサービスの会員になり、視聴することでストレスを溜めることなく何とか過ごすことができている。

このオンデマンドサービスが凄いのは、月額たったの九九九円で当日のライブ中継は勿論ですが、過去の試合も見ることができてしまうので、ステイホーム中は、ほぼ毎日お酒を片手にプロレス三昧の生活となってしまうました。

トレスは溜まらず良かったのですが、お酒のせいかわ、私のお腹の脂肪は貯まりまくってしまい、どうしようか思案をしている今日この頃です。(福田)

コロナといえばお家で読書



コロナ禍で、遠出する機会が減ったこともあり、娘と本屋に行くことが多くなりました。旅に出られない分、余計に日本や世界の秘境ガイドみたいなものに目が行ってしまいます。そのような中、地図や旅行ガイドのコーナーで、えらいものを見つけてしまいました。それは、『全国鉄道地図帳』です。



移動手段としては、飛行機や車の方が好きですが、子どものころから鉄道が好きでした。鉄道好きにも色々分野があって、私の場合、廃線と言った廃止になった路線の痕跡(駅や線路の跡、橋や橋脚、トンネル、築堤)を探るのが好きです。北海道に住んでいた時は、よく廃線探訪に出かけていました。

し、今でも旅行先で発見すると、一人でテンションが上がってしまいます。そこから派生して近代産業遺産や、(幽霊の出ない)廃墟に行ったり、古い地図を見るのも好きです。

話はこの地図に戻ります。なんとこの地図には、現存の路線はもろろんですが、廃止になった路線が、路面電車や貨物専用線なども含めてすべて収録されているのです。これはツボに入りました。

これを見ていたらますますお出かけしたくなりそうですが、グツと我慢して、机上の旅に出たいと思います。ちなみに、左の写真は、昨年宮崎を旅行した際に高千穂鉄道の廃線跡を探訪した際の写真です。(TKO)



列車こない駅跡(下)



観光のトロッコで渡る高千穂橋梁(上)

日・関資連青年部がハイブリッドで臨時総会・意見交流会を開催

去る一月七日に日・関資連青年部の臨時総会が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中ではありましたが、国によるGOTOトラベル事業も始まったタイミングでしたので、少人数の役員のみ集合し、残りの方はリモート参加という形で開催しました。本来五月に開催を予定していた役員改選をようやく行うことが出来、関資連青年部長が神奈川の竹井氏から東京の岩窪宏明氏に交代しました。日資連青年部長は埼玉の大河内氏が続投になりましたので、紺野も顧問のままステイになりました。

新旧交代の晴れの舞台にしては寂しい設営でしたが、それでもリモート参加した全国各地の仲間の承認の元に、新体制でこの難しい時代を切り拓いて行って頂くことを期待しつつ、気が付けば青年部卒業まであと三年半、私もう少しだけ頑張ります。(TKO)



カメラとスクリーンに向かって挨拶する大河内部長

回収車両運転者安全講習会を会場とリモートで開催しました。

当組合では、十一月二十日に、リモート環境が整っていない回収車両運転者を対象にした安全講習会を、二七日に、リモート参加が可能な運転者を対象とした講習会を開催しました。二十日の講習会では、リモート参加が可能な理事、青年部、事務局は参加せず、講師・設営を務める人員のみ会場入りし、ソーシャルディスタンスの確保、消毒、換気、飲食の禁止を徹底し、短時間で行いました。東久留米市環境安全部ごみ対策課後藤課長様、小関管理係長様にご臨席頂き、運転者への労いと感謝のご挨拶を頂戴しました。また、東村山市資源循環部ごみ減量推進課星野課長様、西東京市みどり環境部ごみ減量推進課菱川課長様からは、事前にメ



市民センター会場の様子。換気のため、窓を開け放しているのが寒かったです。

ッセージをお預かりし、司会者より紹介させて頂きました。また、二七日のリモート講習会では、総勢七十二名が参加をしました。スマートフォン、タブレット、PCによる参加に加え、組合員各社内のWEBカメラを利用した参加をしてもらいました。

講習内容は、

- ① エッセンシャルワーカーとしての資源回収
- ② 資源回収業務におけるコロナ対策について
- ③ 組合のISO9001、一四〇〇一取得と回収品質及び安全の管理について

初のリモート安全講習会の開催に対しては、いろいろな意見がありました。しかし、青年部ならば新しいことにチャレンジしていくことが大事であると挑戦してみることにしました。実際に行動に移してみると、参加者のネット環境及び機器の操作の理解度に大きな差があり大変苦労しました。テスト接続の段階で、回線、端末のスペック不足による通信の不安定さなど、不安は尽きませんでした。講習会当日は、接続はできましたが、音声ミュート、画面を表示できないなどの問題が多分に見受けられました。運営側としては、



段取り等に更なる練度が要求されると感じました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今回のような形をとりましたが、参加のしやすさなど、メリットも多々あるように思われます。今後も情報収集を続け、リアル講習会に勝るとも劣らないリモート講習会の開催をしていきたいと思いました。(MK)

秋の共同受注検査(東久留米市)

十月二日金曜日から三週に亘って東久留米市環境安全部の敷地をお借りし、東久留米市委託収集車両、運転手を対象にした共同受注検査を実施しました。

車両については、車検証、横断幕とステッカー、飛散防止のシートやロープ、整備不良の有無を検査します。運転者に対しては、免許証、アルコールチェック、服装や身だしなみ、健康状態などを検

査します。今回の検査においては、大きな指摘事項はなく、適正に委託業務が運営されていることを確認出来ました。(TKO)



全使用車両に対し、1台1台検査を行っています。

コロナ下でのリサイクルイベント

東村山市リサイクルフェア
十月十九日から十月二十三日まで市庁舎内のいきいきプラザ一階ロビーで東村山市リサイクルフェアが開催されました。

やはり、コロナ禍の中、いつものような催しは避け、会場にパネルと机に、写真や展示物を置いて見ていただくイベントとなり、組合は、市民の皆さんが出される古紙がどのように再生され、またどのような紙製品に生まれ変わるのかなどの資料を来場された方々に見て頂き、リサイクルへの理解と

十一月十七日(火)に小川西グ
ラウンドにて「小平市リサイクル

小平市リサイクルきやらばん

しかし、
その中で、清掃組合のごみ収集
や当組合の資源回収に携わって
る方々に、市民の皆様の感謝のメ
ッセージが展示されており、そう
いった仕事をしている当組合も張
り合いと励みになり、市民の皆様
にはお礼を申し上げます。

関心を持っていただく展示内容と
しました。



きやらばん」が開催され、今回初
めて参加させていただきました。
気持ちの良い秋晴れで暖かかった
こともあってか、予想していたよ
りも沢山の方が来場してくださり、
多くの牛乳パックや使わなくなっ
たおもちゃ・ぬいぐるみ・育児用
品などを回収することができまし
た。回収と同時に資料をお渡しし、
リサイクルや古紙分別の啓蒙も行
いました。コロナ禍にも関わらず、
市民の方のリサイクルやリユース
に対する意識の高さを実感するこ
とができ、勉強になりました。

組合ホームページを
リニューアルしました

スマートフォンでも見やすくなりました
いつも当組合のホームページを
ご利用いただき誠にありがとうございます。

リサイクルの最新情報や、東多
摩再資協の組合活動をお伝えして
いる組合ホームページが十月一日
に大幅リニューアルされました。
スマートフォン、タブレットによ
るネットサーフィンが主流のな
っている時代に合わせ、皆様によ
り使いやすく、快適にご利用いた
だける、レスポシブルなWEB

(事務局 高山)



組合ホームページは、
こちらのQRコードから
どうぞ。(アドレスは変
更ありません。)

(水野K)

サイトに生まれ変わりました。
このリニューアルに伴い、皆様
の役に立てるような最新情報を
積極的に発信してまいる所存であ
りますので、当組合のホームペー
ジを今後ともご利用いただけませ
んようお願いします。



関連情報



組合取得 認証



新しくなった組合ホームページ

トイレットペーパー

「プーメラン」
(65m巻き・100個入り)

1ケース3,000円(消費税別・配達料込み)です。

※なお、配達には以下の地域に限定させていただきます。

小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市・東大和市

ご注文は当組合までお願いします。

TEL : 042-395-9788

FAX : 042-395-9787

日本の古紙品質PR動画が完成
(日本語版・英語版・中国語版)

今年一月から制作に向けてプロジェクトが立ち上がった『日本の古紙品質PR動画』がいよいよ完成し、公益財団法人古紙再生促進センターのホームページで公開されています。このPR動画は、古紙センターの他、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会の三団体の協力で作成されたもので、昨年末で中国が古紙の輸入をストップし、世界の古紙流通事情が大きく変化する中、日本では幼少期からの分別教育が進んでいること、日本の古紙は、家庭での排出段階から分別して資源として排出され、資源回収業者がそれを分別回収し、問屋でも選別、検品を行っていることで、高い品質を誇っていることを世界



http://www.prpc.or.jp/pr_movie/

にPRするものです。

このプロジェクトには、紺野専務理事が日資連回収部会長として参加し、打ち合わせや古紙問屋での撮影に参加しました。なお、組合関連イベントの写真が動画に登場しますので、探してみてください。なお、組合ホームページからリンクを貼っております。

行事・行動

【十月】

- 二日：共同受注検査(東久留米)
- 六日：小平RC責任者会議(WEB)
 - ・持ち去り問題意見交換会(WEB)
- 八日：東資協理事会(WEB)
- 九日：共同受注検査(東久留米)
- 十二日：財務委員会
- 十五日：紙リサイクルセミナー(WEB)
 - ・東資協青年部リモート研修会
- 十六日：共同受注検査(東久留米)
- 十九日：東村山市リサイクルフェア(二三日)
 - ・西東京市廃棄物減量審
 - ・業務・集団回収委員会(WEB)
- 二十八日：東村山市RF実行委員会

【十一月】

- 三日：小平RC責任者会議(WEB)
- 七日：日資連青年部臨時総会(WEB)
- 九日：東大和市環境市民の集い総会
 - ・東資協理事会(WEB)
 - ・財務委員会
- 定例理事会(WEB会議)

十三日：小平RC関連JV会議

- 十六日：西東京市廃棄物減量審
- 十七日：小平市リサイクルきゃらばん
- 十九日：業務・集団回収委員会(WEB)
 - ・広報委員会(WEB)
- 二十日：回収車両運転者安全講習会
- 二一日：日資連理事会(書面決議)
- 二五日：東村山市業者連絡会議(書面)
- 二七日：回収車両運転者安全講習会(WEB)

【十二月】

- 七日：小平RC責任者会議(WEB)
- 八日：東資協理事会(WEB)
- 十日：小平RC関連JV会議(WEB)
- 十一日：財務委員会
- 二二日：業務・集団回収委員会(WEB)
 - ・広報委員会(WEB)
- 二九日：仕事納め

【一月】

- 四日：仕事始め
- 五日：年始挨拶回り
 - ・集団回収委員会(WEB)
 - ・小平RC責任者会議(WEB)
- 七日：小平RC責任者会議(WEB)
- 八日：東資協理事会(WEB)
- 十二日：小平RC関連JV会議(WEB)
 - ・定例理事会(WEB会議)
- 十六日：日資連理事会(WEB)
- 十八日：西東京市廃棄物減量審
- 二十日：業務・集団回収委員会(WEB)
 - ・東大和市廃棄物減量審(書面)
- 二一日：小平市リサイクルきゃらばん
- 二九日：共同受注検査(西東京市)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年の新年は、外出の自粛、分散参拝など、異例ずくめのお正月となりました。気が付かないうちにストレスも溜まってしまっているような気がします。こういう時だからこそ、意識をして上を向いて、前を向いて、今日より明日はいい日になることを信じて頑張っていきたいと思えます。

さて、直言拝聴をご寄稿頂きました川上専務理事、ありがとうございます。古紙業界にとっても大変厳しい中でのご就任、そして先行きも不透明な中で、無理を言ってお願ひしましたが、わかりやすく今後の見通しをご教示下さいました。古紙業界に身を置くものとして、引き続き国内メーカーへの安定的な原料の供給を担ってまいりたいと思えますのでよろしくお願ひします。昨年未あたりから、イギリスや南アフリカから変異種が流行し、世界に拡大しております。私の周りでも、初めて知り合いの方が感染しました。ウイルスの脅威は間違いない私たちの近くまで、そして勢いを増しているようです。油断せず、対策を怠らぬに日常を過ごしたいと思えます。(TKO)